



広報みすず

7

2019

第465号

美鈴が丘まちづくり協議会

災害に強い街づくりをすすめよう！
―近所の助け合いと情報の共有化で命を守る―

豪雨災害の危険性

昨年7月の西日本豪雨災害では、多くの人命が失われた。幸い、美鈴が丘では大災害にならなかったが、豪雨の原因の一つである線状降水帯(図1の黒い部分)が、北にずれていた

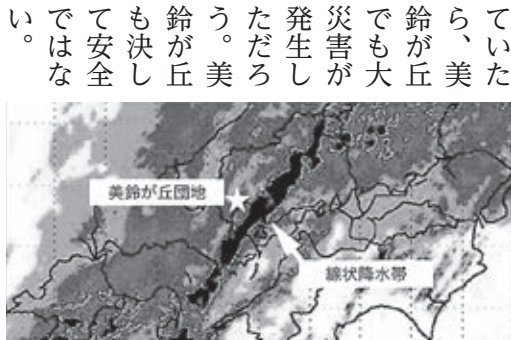


図1 西日本豪雨災害時の線状降水帯

警戒区域の方は避難を

豪雨災害は予測可能で、事前に避難すれば命を守れる。ハザードマップに警戒区域(イエロー・レッドゾーン)が記載されており、この区域に住んでいる方は、避難情報に従って避難すること。

避難情報の発令区分

避難情報は防災メール、テレビ、ラジオ、インターネット、町内会の連絡網などから入る。今年度から、5段階の警戒レベルに変更となった(図2)。

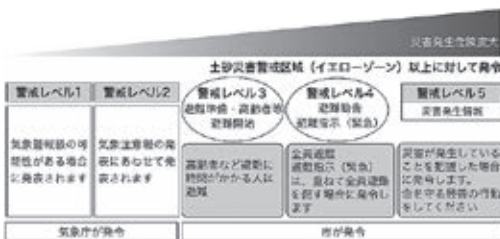


図2 避難情報の発令区分

避難場所と避難行動

警戒レベル3で、美鈴が丘高校の講堂、各街区の集会所が避難所として開設される。どこに避難しても良い。避難所が遠い方、ペットを連れていく方は、車を使って避難してOK。避難して命を守ることが優先。

安全な地域の家族や知人の家に避難するのもOK。安全なホテルやショッピングセンターもOK。少しでも、避難を楽しくしたい。美鈴が丘の多くの家は警戒区域ではない。安全な地域の方は、警戒区域の友人を家に招いて一緒に過ごすはどうだろう。

暗いと危険箇所が見えない。遅くなる程、大量の水で道路が危険な状況になる。日没前の早いタイミングで、避難することが大切。避難が危険と判断したら、山とは反対側の2階の部屋へ移動する。

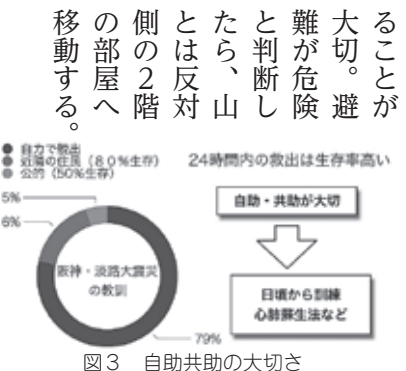


図3 自助共助の大切さ

自助共助と普段の準備

避難せよと言われて、すぐ避難行動は取れない。普段からの準備が大切。避難情報の受け方、避難場所、時期、移動手段、持ち物などを決めておく。防災メールが未登録の方は登録しておく。家族や友人宅に避難するなら事前に話しておく。家族と被災時の連絡の取り方を決めておくなど。

「私は、高齢だけど、隣の人と一緒に逃げられるから、安心。」という声を聞いた。近所の助け合いがとても大切。普段から避難方法を話しておく、いざという時、一緒に安全な避難行動がとれる。

阪神大震災で助かった多くの方は、自助(自分の力)、共助(近所の方の力)で助かっている(図3)。公助は重要だが、渋滞、道路が塞がると、現場に着くまでに時間がかかる。早く助け出すほど生存確率が高いから、自助、共助が大切。

避難訓練、防災の講習会などで防災を身につけ、近所のつながり、助け合う気持ちを強めて、災害に強いまちをつくりましょう。

(防災部長 安藤 正登)

★組長・班長さんをお願い！一軒ずつ戸別配布してください！

美鈴モールの40年史

連載三

美鈴モール街幻の再開発事業

昭和47年、大規模小売店舗法が改正され、全国では大型スーパーが続々誕生、近隣においては商工センターに「アルパーク」がOPENいたしました。

全盛だったモール街は、その頃から下り坂となっていました。

昭和61年、当時の三井不動産社長宛に嘆願と提案を兼ね、当時まだ空地であったパークコート用地、銀行、スーパー、郵便局、モール街用地、合わせて約2ヘクタールの再開発事業計画案総合開発を受け入れて頂く事で決まりました。

三井本社より、一級建築士2名と、地元美鈴が丘から建築学専門の大学教授にも参加して頂き、早々に、畳半分程の模型も完成、モール35店舗、銀行、スーパー、郵便局、そして300戸のマンションを含め、約100億円の事業でした。

当時、世の中は好景気で美鈴が丘では建てれば即、売れる、人口も日々増えておりました。私達の提案は現実に向かって進んでいました。この計画は等価交換方式で、話が煮詰まり始めた頃から、諸々の事情などで話が進まなくなりました。

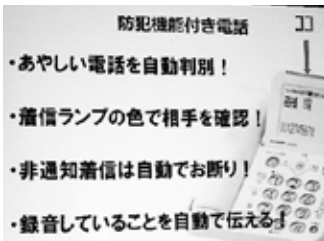
2年、3年が過ぎた頃から、世の中景気が下り坂となり、平成2年三井不動産側より諸事情により「この件は白紙とします」と通知されこの夢のような計画は「泡」のように消えました。

美鈴モール街会長 平川 和男

◆防犯合同研修会

6/1

防犯組合・地域安全推進員・ガードボランティア・青少年指導員、佐伯署等防犯関連団体が美鈴が丘の安心安全なまちづくりに向けて連携強化中。62人参加。佐伯署生活安全課の木村氏は「5月末まで佐伯区内の特殊詐欺発生はゼロだが油断は禁物。最近の新たな手口ではプリペイド式電子マネーでの支払いを要求。カード裏面のID番号を巧みに聞き出し騙し取る。架空請求詐欺・オレオレ詐欺・還付金詐欺が大半。空巢被害の防止法は鍵を二重に掛け、割れない窓にする事が効果的。侵入に5分以上掛るように対策を」と熱弁。



防犯機能付き電話で自己防衛

◆金融講座(消費税10%導入に向けて)

6/14

金融広報アドバイザ・倉橋孝博さんの金融・経済講座「消費税10%導入に向けて」を参加者40名が聴講した。軽減税率対象品目、ポイント制度、市民税非課税者及び3歳未満の子育て世帯向けのプレミアム商品券販売(6/15付市民と市政に掲載)など賢い消費税対策について解説していただいた。ポイント還元(5%)は中小小売店でキャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー、QRコードなど)での購入分が対象で、10月から9ヶ月間が検討されている。(金子)



10月からの実施の為、皆真剣に受講

◆第38回町内ソフトボール大会

小学校ブランド6/9



西チームの面々

快晴に恵まれ、選手は練習の成果をいかんなく発揮し好試合を展開、ソフトボールを通じて、親睦を兼ねて交流が図られた。結局、打撃戦を制した「西チーム」が見事優勝した。(池田)

◆美中生の職場体験

サメル美鈴が丘こどもの園

6/18、20

キャリア教育の一環として美中生が様々な職場で3日間にわたり職場体験。サメル美鈴が丘こどもの園では男子2名女子2名が体験。お兄ちゃん先生！



お兄ちゃん先生奮闘中

お姉ちゃん先生！と子どもに大人気。楽しい！と素晴らしい笑顔で答えてくれました。(荒川)

◆江戸時代の広島

講座 江戸時代の広島

公民館 5/24

広島市郷土資料館学芸員の本田美和子氏が「知られざる身近な史跡を探る」という副題付きで講演された。広島島の干拓・堤防跡、樋門・樋守神社、本川、元安川の河岸の雁木・船着き場などのわかりやすい地図等がスライドで映し出され、60名を超える満席の参加者が熱心に聞き入った。被爆都市広島にも面白い所が結構残っている。(富井)



江戸時代の広島はどんな風景

◆東4サロン

ウェルベルの健康体操
30名がウェルベル健康体操を受講。筋力アップ運動と頭と身体を同時に使う脳エクササイズで脳の活性化。みんなリフレッシュし



楽しく体操中

て生き生きとした表情になりました。(金子)

◆介護予防講座

(介護用具講座)

5/31

(株)フロンティアより「介護保険でできること」をテーマに参加者25名が聴講した。介護保険で利用できる福祉用具のレンタル、購入費に係る給付、住宅改修費の支給など。転倒予防のために靴の選び方も大切。参加者は実際に電動カーの試



用具の説明を受ける

高齢者地域支え合い事業(みすず高齢者サポート)をご利用ください!

美鈴が丘では、地区社会福祉協議会が中心となり「ご近所ネットワーク美鈴が丘」「近所で近助」のゆるやかな見守りの取り組みを進めています。また、各町内で向こう三軒両隣のゆるやかな見守りを行いながら気になる高齢者がいる場合には、地域包括支援センターと一緒に情報共有して見守りが出来るような仕組みを作っています。その名称が「広島市高齢者地域支え合い事業」みすず高齢者サポートです。

ご近所、本人・家族から具体的に見守りの希望があった時に利用でき、手続きは地域包括支援センター職員が訪問して行います。「ご近所ネットワーク美鈴が丘推進員会」は今後も増える高齢者世帯・一人暮らし世帯へ見守りや、子どもや障がい者等の見守り・支援について検討しながら、住み慣れた地域で安心して住み続けられる地域づくりを目指して、取り組みを進めています。

(包括支援センター長 大野)

◆第31回美鈴が丘高校文化祭

6/15

生徒の約8割が部活に参加しているという、文武両道バランスのとれた教育方針を誇る美鈴が丘高校が、地域に向けて開放した文化祭では、今年も生徒達が日頃の学びや練習の成果を、趣向を凝らした展示やパフォーマンスで表現し、見るものを楽しませた。同時に行われた献血運動は雨天で来場者が伸びず、高校生を含む総勢60人が協力した。(ウエバー)



献血を皆でPR(目標100人)



幻想的な演出(書道部)

◆年長さんの山歩き

5/27

サムエルこどもの園の58名が、鬼が城山を巡った。モリアオガエルの卵やヤマボウシの花を見て、頂上でヤッホーと叫び、ヨモギを摘んだりして山の体験をした。(小川)



出発前に記念写真

◆花と苗の交換会

フエンネル、ナデシ

コ、クリスマスローズなど50種類が、ブルーシート上に丁寧に並べられた。参加者30名。皆、植え方や花が咲く時期などの会話を弾ませながら、交流の輪を広げた。(虫明)



交換会の様子

住民の声
止めてください!

家の前や溝にたばこの吸い殻をポイ捨てされて不安や不愉快な思いをしています。歩きながら煙草を吸われる方は携帯灰皿若しくは吸い殻を責任を持って家まで持ち帰ってください。少々言い過ぎかもしれませんが、重大な事案(火災など)が発生する前に、吸い殻のDNA鑑定をしたい



根元まで燃えつきた吸殻

まちづくり協議会6月定例役員会報告(6月2日)

- ① **第40回夏祭りに関して** (企画部長)
⑧/3(土)予定。雨天の場合は8/4に順延。
- ② 浴衣での参加者先着300名にバザー券を配布する。
- ③ 7/31、8/2みすず音頭などの練習日を設定
- ④ 今年もバスを運行するので多くの参加者を期待している。
- ② **敬老会について** (社協推進委員)
9/15(日)石内福祉センター、75歳以上の方を招待して実施予定。今年の演芸は広島ジュニアマリンバアンサンブルを予定。
- ③ **日赤からの資料配布と募金の振り込み方法などを説明。**
- ④ **災害時緊急連絡網について** (防災部長)
① 災害対策本部連絡組織票に電話番号を記入した。
- ② 緊急避難情報区分の変更。レベル3では高齢者は避難開始、又災害レベル3が出た場合は全集会所を開放する。6月7日には高校講堂が避難場所として開放され、集会所も開けられた。
- ⑤ **防犯カメラの設置に関して** (防犯組長)
防犯カメラ(今年度予算計上分)を中学校前交差点と西5丁目交差点に付けたい及び関連する町内会長(西5、東3)の了解を取り付けた旨の説明があった。
- ⑥ **その他**
役員全体の承認を得る為の手続きが徹底されていないとの指摘がなされた。

- ◆ **リンリン下校 5/28**
(子ども見守り一斉行動)
朝からの雨が上がり小学校の先生方、地域のサポーターの方々、青パトも加わり下校時の子ども見守り一斉行動が行われた。
- 当日朝、川崎市登戸で小学生が犠牲になる通り魔殺傷事件があり、緊張感の中はじまった。子ども達が安心して登下校できる地域である為に多くの方々の協力が大切と感じた。(藤川)
- ◆ **ヨチヨチルーム**
みすず公民館 5/27
子育て支援相談員による、親子でふれあいながらの手遊び歌に歓声が上がりみんな最高の笑顔。誰の洗濯物かを当てっこするパネルシアターも楽しんだ。14名参加 (古澤)



一斉下校風景



親子でふれあいながらゲーム



真剣な表情で挑戦

- ◆ **児童館囲碁クラブ**
児童館 5/24
月に1回、囲碁同好会の方による囲碁の指導教室。ルールを知らなくても大丈夫。基本の決まり事を教えてもらい、実践。真剣な顔で例題を1問ずつ解いている子ども、友達同士で対戦をしている子もいる。囲碁を通じて世代間交流が行われていた。(津下)

ちびっこプール開催しますよ!!!

大好評につき今年もやります。モール街の広場に家庭用のプールを3つ置き水を満々と湛えて、ちびっこ(未就学児)達に水遊びを楽しんでもらいます。

7月22日(月)~26日(金)13時~15時

お爺ちゃん、お婆ちゃんお孫さんを連れて遊びに来ててくださいね!

(民児協)



完成したフォトスタンドで満足顔



作業風景

- ◆ **ジュニアリーダーと遊ぼう**
フォトスタンド作り
6/15

広報みすず
第465号
発行日
令和元(2019)年7月12日

きざらぎ句会
◎今月の一句
就活に我が骨格を
知る半夏
泰彦

お詫びと訂正
6月号で、記述に誤りがありました。左記通り訂正いたします。

- ① こんにちば赤ちゃん欄 (誤) 宮家大翔くん西5 (正) 宮家大翔くん西2
- ② きざらぎ句会(詠み人) (誤) 陽子(正) 網代、慎んでお詫び申し上げます。

- **お知らせ・催し**
- 8月3日(土) 第40回夏祭り
 - 8月21日(水) 小学生防災体験ツアー 総合防災センター
 - 9月1日(日) 第31回町内グランドゴルフ大会
 - 9月15日(日) 第39回敬老会
 - 9月21日(土) 石内福祉センター
 - 9月28日(土) クラブ大会 子ども育成部
 - 10月5日(土) 美鈴モールサマーフェスタ
 - 10月16日(水) 小学校運動会
 - 10月16日(水) 環境講座 公衛協
 - 10月27日(日) 第35回町民大運動会